

地域建設業は想定外の災害にどう備えるか

日 時：平成 29 年 7 月 4 日 (火) 14:00 ~ 18:00 参加費：無 料
会 場：イイノホール Room A (大会議室) 東京都千代田区内幸町 2-1-1 (TEL: 03-3506-3251)

主 催：建設トップランナー倶楽部
後 援：日本青年会議所建設部会 全国建設業協会 日本プロジェクト産業協議会 建設コンサルタンツ協会
建築技術支援協会 地方建設専門紙の会

開催趣旨

2011 年東日本大震災、2011 年新潟福島豪雨・紀伊半島豪雨、2012 年九州北部豪雨、2014 年 8 月豪雨 (広島土砂災害)、2014 年御嶽山噴火、2015 年鬼怒川堤防決壊、2016 年熊本地震・北海道東北豪雨、2016 年糸魚川大火など、近年の日本では災害が多発している。地震が少ないといわれた地域で大地震が起き、豪雪対策をしてきた北国で豪雨が増えるなど、地域であまり想定されていなかった自然災害が増えている。

建設トップランナー倶楽部は、これまでインフラの町医者をめざして、地域防災の担い手、社会インフラの守り手、複業による雇用の支え手として頑張ってきた。近年では、防災事業、発災時の初動対応、復旧工事における役割が重要になっている。担い手不足の中で、新工法や ICT の活用など、新たな挑戦も始まっている。

さらに、中山間地域や離島では、農林水産業の健全な営みが地域の保全と防災につながるとして、農林水産業と建設業の複業を進める建設経営者もいる。

本フォーラムでは想定外の災害への備えに焦点をあてる。これまでの教訓を生かして地域建設業はどう備えるべきか、複業の経験からみた地域防災、災害対応の新しい動きについて、その取り組みをもとに議論する。

【申込方法】

下記のホームページの申込フォームからお申込ください。
<http://www.kentop.org/>

【インターネットで実況中継】

建設トップランナー倶楽部のホームページ
<http://www.kentop.org/>

【交流会】

時 間：18:30 - 20:30
会 場：イイノホール Room B
参加費：5,000円 (会場にてお支払いください)

【お問い合わせ】

建設トップランナー倶楽部 事務局
〒113-0023 東京都文京区向丘 1-5-4 ワイヒルズ 2 階 米田事務所内
中川寛子 / 大里茂登子
TEL 03-5876-8461 FAX 03-5876-8463 Mail: info@kentop.org

プログラム

【14 時 -14 時 10 分】

司会・開会 建設トップランナー倶楽部幹事 丹羽庸介
趣旨説明 建設トップランナー倶楽部代表幹事 米田雅子
来賓挨拶 国土交通大臣 (依頼予定)
農林水産大臣 (依頼予定)

【14 時 10 分 -15 時 04 分】

第 1 部 災害時にどう備えるべきか

アドバイザー 元国土交通事務次官 谷口博昭
元農林水産事務次官 皆川芳嗣
北海道・台風豪雨災害への対応 齊藤井出建設社長 齊藤和之 北海道
糸魚川大火災における対応 後藤組社長 後藤幸洋 新潟県
アドバイザー総括コメント 各 7 分

【15 時 05 分 -15 時 55 分】

第 2 部 複業による地域の保全

アドバイザー 国土交通省 大臣官房建設流通政策審議官 海堀安喜
農林水産省 大臣官房危機管理・政策評価審議官 塩川白良
農林業再生による奥飛騨の保全 和仁建設会長 和仁松男 岐阜県
農林水産業再生による隠岐島の保全 吉崎工務店社長 吉崎博章 島根県
アドバイザー総括コメント 各 5 分

【15 時 55 分 -16 時 10 分】

休 憩

【16 時 10 分 -17 時 00 分】

第 3 部 災害対応における新しい動き

アドバイザー 国土交通省 大臣官房技術審議官 五道仁実
内閣府防災担当
東日本大震災後の仙台市地域防災協定 深松組社長 深松 努 宮城県
無人飛行機で災害現場の撮影 山崎建設社長 山崎健吾 新潟県
アドバイザー総括コメント 各 5 分

【17 時 -17 時 45 分】

第 4 部 パネルディスカッション

「地域建設業は想定外の災害にどう備えるか」

パネラー 国土技術研究センター所長・土木学会会長 大石久和
林野庁次長 沖 修司
北海道空知建設業協会会長 砂子邦弘 北海道
コーディネータ 建設トップランナー倶楽部代表幹事 米田雅子

【17 時 45 分】 閉会の言葉

フォーラム実行委員長 小野貴史 新潟県